

## 2018/09/12【学習支援センター】第9回教育力アップセミナーを開催しました

### ○一より効果的な授業のために

8月31日（金）、本学若手新任教職員を対象に、第9回教育力アップセミナーを開催しました。

本セミナーは、「大学での教育活動における課題を教員や職員が検証すること」と「教員と職員で互いの問題を共有しながら、改善のための方法をともに探ること」を目的として毎年開催しており、主に3年目までの若手教職員を参加対象としています。今年度は、教員11名と職員2名、合計13名が参加しました。

今回のセミナーでは、3つのセッションをおこない、森河亮学習支援センター長の進行で行われました。

セッション1では、近年の大学を取り巻く状況や本学学生の様子、そしてなぜアクティブラーニングが必要なのかについて解説があり、そこから本学の対応や今後の学びの課題について学びました。

セッション2では、「学び方の個性」を知り、「学び方の違い」をポジティブに受け止め、「学び」の糧にしていくことが大事であることの説明がありました。学習には4つのスタイルがあり、これらの学習すべてにアプローチできるものとして、体験学習サイクルが紹介されました。体験学習サイクルとは、①実体験②振り返りと観察③概念化・一般化④試験・応用といった4段階の学習変化を示し、その4つのサイクルを回し続けることが目標達成につながることを学びました。

さらに、セッション3では、実際にアクティブラーニングの手法を取り入れたグループワークとして、明日の修大を見すえ、「考えてみたいこと」「今、悩んでいること」「今後、取り組んでみたいこと」について、検討しました。各グループでは、「学生への支援・指導」、「学生の主体的な学び」、「多様な学生への教育」や「20年後の修大の未来像」などについて、教職員それぞれの立場から意見交換がなされました。

参加者からは、「大学教育の意義を再認識し、問題を知ることができた」、「他学部先生や他部局の方と意見を交換し、大学についていろいろ考えることができた」、「修大の今まで見えていない面を感じることができた」や「講義の進め方など参考になることが多かった」などの声が寄せられました。

